

かけはし

〒669-2321

兵庫県篠山市黒岡5番地

TEL 079-552-1181 (代表)

FAX 079-552-5343 (代表)

《理念》

兵庫医科大学ささやま医療センターは、安全で質の高い医療を通じて、地域社会へ貢献するとともに、よき医療人を育成します。

《基本方針》

- 患者の立場に立ったチーム医療の実践
- 人間性豊かで、優れた医療人の育成
- 科学的な根拠に基づく医療の実践
- 健康増進活動による地域の保健・福祉の推進
- 地域の医療機関との円滑な連携

《患者さんの権利》

- 良質で安全な医療を平等に受けることができます。
- 病気や治療について、わかりやすく十分な説明を受けることができます。
- 診療内容をご自身で選択することができます。
- 診療内容について、他の医師の意見を聞くことができます。
- ご自身の診療情報を入手することができます。
- いかなる状況においても人間としての尊厳が守られます。
- プライバシーは常に保護・尊重されます。
- 患者さんの権利に関する「リスボン宣言」を尊重し、患者さん本位の医療を実現することができます。

◆私たちは地域包括ケアを支えます！◆



明けましておめでとうございます。皆さま方にとって本年も幸多い良い年でありますようお祈り申し上げます。

本年1月より、訪問看護ステーション「デカンショ」が病院から独立し、居宅介護支援事業所や開設予定の訪問介護ステーションなどと共に新しくできた組織「ささやま居宅サービスセンター」に属することになりました。これにて兵庫医科大学ささやまキャンパスは医療センター、老人保健施設（大柳光正：本学名誉教授が施設長に本年1月着任）、居宅サービスセンターの3つの柱を持つことになり、急性期医療から回復期のリハビリテーション、福祉施設での療養・介護、住み慣れた地域での療養（訪問診療・訪問看護・訪問リハ・訪問介護）を総合的に提供し、円滑に病院→（老健）→在宅医療・介護へと移行し社会復帰していただくことをサポートします。また、老健入所時やご自宅での訪問看護・介護を行っている時に、急に病気の状態が悪くなれば円滑に医療センターに入院していただくことが可能になり、地域包括ケアが可能になります。

地域に貢献し、地域に信頼される兵庫医科大学ささやまキャンパスを目指し、教職員一同なお一層努力いたしますので、地域の皆さま方にはご支援のほど、よろしくごお願い申し上げます。

兵庫医科大学ささやま医療センター 病院長
同 ささやま居宅サービスセンター センター長
太城 力良

◆老人保健施設長、介護支援事業所所長として◆



この1月より、私、大柳光正が前任の太城力良先生の後を継いで兵庫医科大学ささやま老人保健施設の施設長、ささやま居宅介護支援事業所の所長を併任することになりました。

兵庫医科大学ささやま老人保健施設は平成11年9月に開設以来、高齢化の進む丹波地域の中で、ささやま医療センターの併設型老健として、高齢者の自立を支援し在宅復帰を目指すとともに、在宅の要支援の高齢者とそのご家族に対してはケアサービスを提供してまいりました。居宅介護支援事業所は平成23年2月に開設し、在宅の高齢要介護者の支援と共に障がいのある方や児童への相談機関として充実に努めてまいりました。

そして、兵庫医科大学ささやま医療センターや附属する地域支援型リハビリテーションセンターと連携して総合的ケアを提供し、心身ともに豊かな人生を支援できるように努めてまいりました。今後、より一層の利用者の皆様、ご家族の方々から信頼され満足いただけるサービスを提供するとともに、篠山市の関

係部局や一意の医療・介護施設とも密接に連携した地域のニーズに応じたより良き運営を心がけてまいります。ご指導・ご鞭撻を
お願い申し上げます。

兵庫医科大学ささやま老人保健施設 施設長
兵庫医科大学ささやま居宅介護支援事業所 所長
大柳 光正

◆クリスマスコンサート◆

去る12月22日（火）、ささやま医療センター玄関ホールにて、患者さんやご家族に「癒しの時間」を提供することを目的に、クリスマスコンサートを開催しました。今回は約30名で構成されたささやまシニアアンサンブル（シニア世代で構成された室内合奏団）により、クリスマスソングはもちろん、長年愛されてきた名曲や、子供たちに大人気の曲なども演奏していただき、あらゆる年代の方々に楽しんでいただくことができました。

また院内保育所の児童による歌のコーナーもあり、子供たちの可愛らしい姿に会場は大盛り上がりとなりました。コンサートの終盤には、サンタクロースとトナカイの衣装を着た教職員によるプレゼントコーナーもあり、院内保育所の児童や入院患者の皆様も大変喜ばれていました。



◆認知症サポーターについて◆

平成 27 年 10 月 27 日（火）、11 月 6 日（金）、10 日（火）に篠山市商工会館において「認知症サポーター研修」を開催しました。この研修は、篠山市の認知症対策長期目標である「認知症になっても住み慣れた地域で、安心して暮らせるまち」に基づき、認知症サポーターを養成する目的で、ささやま医療センターとささやま老人保健施設の職員全員を対象に企画したものです。

丹波認知症疾患センター長 福井辰彦先生、県立柏原病院認知症認定看護師 柏陽子先生を講師としてお招きし、篠山市の松本ゆかり課長補佐の導入で、医療・介護専門職員ばかりでなく、事務職員、補助職員、保安・清掃職員一同が、「認知症は、高齢化社会において特別なものでなく、歳を重ねた延長線上に誰でも起こる事であり、理解することが大切であること」を学びました。

受講者には、オレンジリングが渡されますが、医療・介護施設であるため、私たちは、危険や感染を回避するためにネームプレートにオレンジ色のロバのシールを貼ることにしました。また、院内・施設内の各所に“認知症サポーターがいます”という文言のロバのポスターが貼ってあります。今後、医療者向けの上級コース研修も企画し、認知症に優しい病院・施設を目指して行きます。



◆医療のお話 <CT・MRI 検査について>◆



11月25日（水）、「CT 検査でわかること」、「MRI 検査ってなあに？」というテーマで第6回の市民ふれあい健康教室を開催しました。

CT とは、コンピューター断層撮影法（Computed Tomography）の略で、身体にエックス線を照射し、通過したエックス線量の差をデータとして集め、コンピューターで処理することによって、身体の内부를画像化する検査です。

一方 MRI とは、核磁気共鳴画像診断装置（Magnetic Resonance Imaging）の略で、診断を行うために適した断面を縦、横、斜めなど自由に撮影できるのが特長です。また、X線を使うCTと違って放射線による被曝がなく、安心して検査を受けることができると言われています。

教室では、当院の診療放射線技師2名が、実際の画像を表示しながら病変部位の説明を行ったり、検査の仕組みについて丁寧に説明を行いました。当日は約20名の参加者にお集まりいただき、「MRIは何度が受けたが、今回の話でよく分かりました。」等の感想をいただきました。

◆訪問看護ステーションの設置◆

篠山キャンパスでは、昨年より、篠山市或いは丹波圏域における地域包括ケアシステムの中核を担うべく、回復期医療の強化を図るために地域包括ケア病床及び回復期リハビリテーション病棟を設置しました。また、住み慣れた地域や家庭で安心して療養が行えるよう、在宅ケアの充実のために既設の居宅介護支援事業所所属のケアマネージャーを増員して医療と介護の連携強化を進めるとともに、みなし指定による訪問看護事業を開始しました。

さらに、今年1月からは、より地域に根ざした訪問看護事業所として兵庫医科大学ささやま訪問看護ステーション「デカンショ」を居宅サービスセンター内に開設しました。当ステーションでは、以下の理念の下、篠山市のより多くの利用者に対して、きめの細かい利用者の立場に立ったサービスを提供していくこととしました。

今後計画している、訪問介護ステーション及び定期巡回・随時訪問介護看護事業所の開設を含め、こういった一連の試みは兵庫医科大学の建学の精神として掲げる「社会の福祉への奉仕」に基づくものでありますが、医科大学としては極めてユニークな試みといえます。しかしながら、昨今、国が強力に進める地域包括ケアシステムの構築や医療と介護の連携を考えると、救急医療、急性期医療から回復期医療、慢性期医療、在宅医療、介護サービスといった幅の広い医療、福祉サービスを実践し、教育できる施設として非常に重要な役割を果たしていけるものと考えています。

<兵庫医科大学ささやま居宅サービスセンター理念>

兵庫医科大学ささやま居宅サービスセンターは、住み慣れた地域で安心して在宅療養が行えるよう、看護と介護が一体となって質の高いサービスを提供します。

<兵庫医科大学ささやま居宅サービスセンター運営方針>

- 常に利用者様の立場に立ったサービスを提供します。
- 24時間連絡可能な体制をとり、健康と生活をサポートします。
- かかりつけ医、看護職員、介護職員が一体となって質の高いサービスを提供します。
- ケアマネージャーときめの細かい連携を行うことにより、在宅ケアへのスムーズな移行を支援します。
- 大学の附属施設として、地域医療、在宅医療並びに居宅介護に精通した優秀な医療人を育成するための教育を推進します。



看護師宿舎H棟の1階がステーションです。

◆マスク自動販売機の設置について◆

ささやま医療センター、老人保健施設（ささやまキャンパス）においては、今年度におきましても、キャンパス内での感染拡大を未然に防止する対策をとることとしております。

感染対策として、ご来院（所）いただく皆さん年明け早々から、マスク着用と手指消毒の徹底をお願いし、ご面会の方々には面会前に体調のチェックをお願いしているところです。

なお、キャンパス内でご使用いただくマスクについては、各自でご用意いただくようお願いしておりますので、御理解とご協力をお願いいたします。院内では売店で販売しておりましたが、新たに自動販売機を設置し、購入いただけますので、よろしく願います。

◆西日本旅客鉄道株式会社主催 列車事故お客様救済合同訓練◆

平成 27 年 12 月 8 日（火）、西日本旅客鉄道株式会社主催による「列車事故お客様救済合同訓練」が実施され、ささやま医療センターからは医師4名、看護師2名、事務員2名が参加しました。

今後も地域の災害訓練に積極的に参加する予定です。

次回発行予定 平成 28 年 4 月